

# No.1559

## 防災の日

—東京・港—

9月1日は防災の日。関東各県、都内各地で大地震発生を想定した避難、消火訓練が行なわれました。都心の港区芝公園では地元住民、日赤奉仕団など2200人が参加して「青空防災教室」が開られました。鎌倉警視総監の災害時の心がまえの話を聞いたあと、地元住民による消火訓練や救助活動を行ないました。会場には昨年三原山大噴火を体験した観光馬2頭も参加して人気を集めていました。また起震車で大地震の際の電気、ガスのチェックや避難の仕方を勉強しました。ふだんから家庭も職場も災害に対する準備をしておきたいものです。

## 房総のむら

—千葉・栄町—

実の秋を迎えた房総地方。

千葉県印旛郡栄町にある房総風土記の丘は古墳が112基もあり全国的に有名です。

この隣りに1年前に出来たのが体験博物館、千葉県立「房総のむら」。

江戸時代の千葉にあった商家や武家屋敷、上総地方の名主の家などが再現されています。このむらでは見学だけでなく実際に体験できるところがユニークなところ。

機織りも先生の実演を見学したあとすぐに製作体験をするお母さん。農家ではワラ細工や竹細工の体験もできるとのこと。一方商家の中のおそば屋では地元のそば屋の主人石井さんが手打ちそばの実演の真最中。「水を少なくしてよくこねてのばすのが美味しいそばの作り方」と話しながらかまどの火を使っての昔のままのふんい気です。

しかし体験する主婦たちは料理教室なみの調理室が用意され4人一組でそば作りを始めます。

この体験教室に参加するには準備の都合上、予約が必要というのが現場関係者の頭の痛いところ。

10月からはお菓子屋、お茶屋など製作体験の出来る店がふえるのでより人気を呼びそうです。